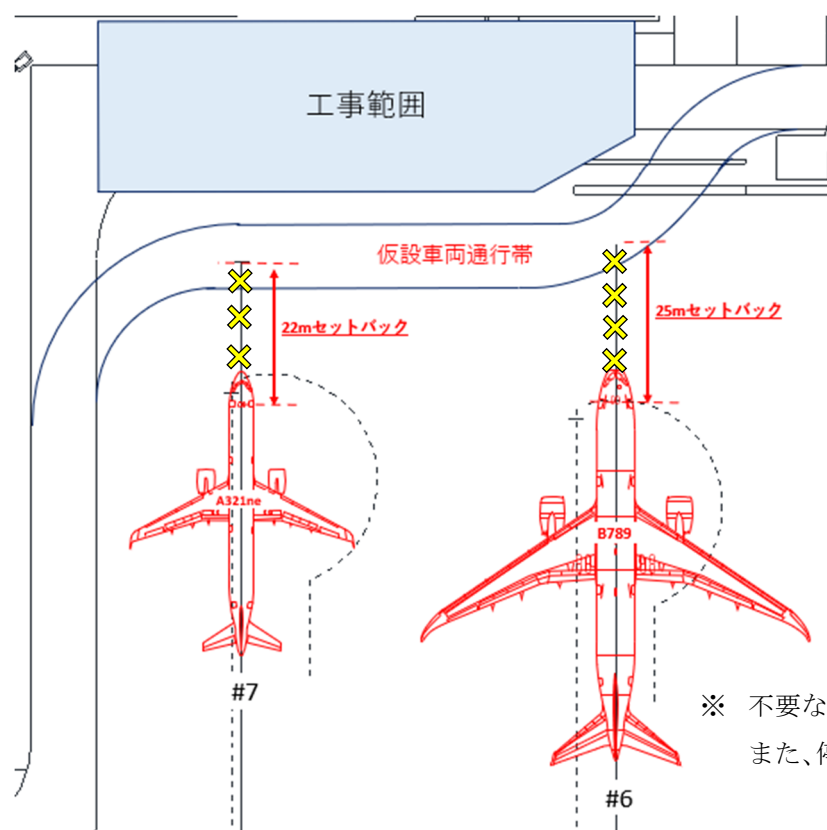


エプロン運用ルールの一時変更について

工事の実施に伴い、スポット運用ルールを一部変更いたします。
また、スポット6番及び7番以外のスポットは運用ルールに変更はありません。

◎期間:令和7年7月18日 ～ 令和8年3月31日頃まで(終日)



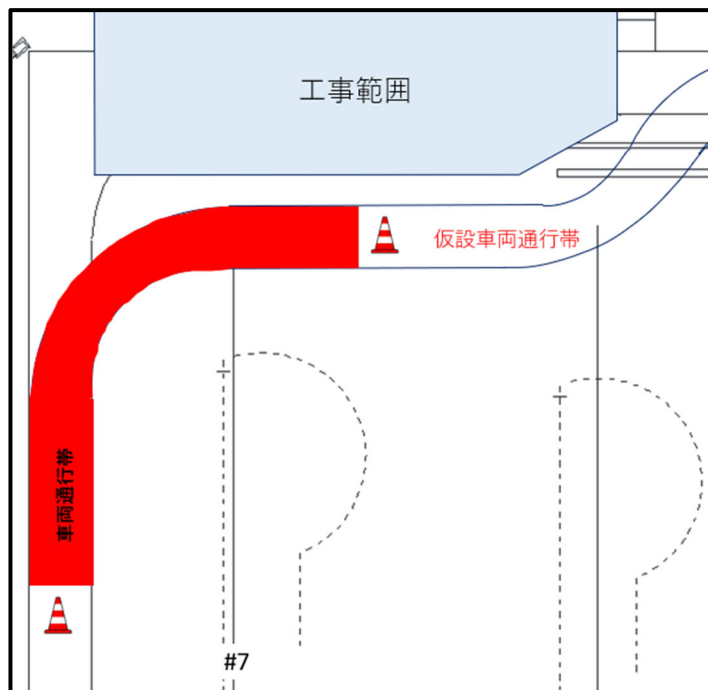
スポット	出発方式	駐機位置	運用制限等
6*	プッシュバック	正規位置から 25m セットバック	・ B789 を超える全長又は全高の機体は駐機不可
	自走アウト	正規位置 (変更なし)	—
7	プッシュバック	正規位置から 22m セットバック	・ A321neo を超える全長又は全高の機体は駐機不可
	自走アウト	正規位置 (変更なし)	ブラストがかかるため、自走アウト時は前方及び左横の車両通行帯を通行止め→次ページ参照

6* : スポット 6 番にあつては、機材故障等発生した場合、運航情報官と調整した上で正規位置からのセットバックを 15m とすることで、B772 まで駐機可能。この場合、旅客ハンドリングを不可とし、出発方式はプッシュバック方式に限定する。

【参 考】

スポット	出発方式	駐機位置	運用制限等
6	プッシュバック	正規位置から 25m セットバック	・ B789 を超える全長又は全高の機体は駐機不可 (B78X、B772 駐機不可)
	プッシュバック	正規位置から 15m セットバック (機材故障等発生した 場合のみ)	・ B772 を超える全長又は全高の機体は駐機不可 (B78X、B772 駐機可能) ・ 旅客ハンドリング不可 ・ 事前に運航情報官と調整が必要

【スポット7番からの自走アウト時における車両通行帯の通行止め】



- ・ スポット7番自走アウト時に、ブラストの影響範囲が車両通行帯の一部にかかるため、車両通行帯の通行止めとしていただく必要があります。